

学年:	2年生	Stage:	Stage I	コード:	S2301	単位:	1.5
モジュール名	衛生学			科目担当責任者	川村 和章		
モジュール名(英字)	Public Health			コース名	SSD 社会歯科医療系		
一般目標(GIO)	健康と疾病の概念ならびに環境と健康との関わりを理解する。						
ユニット:一般目標	1. 健康の概念と健康政策 健康と疾病の概念を理解して健康政策を説明できる。 2. 疫学と保健医療統計 疫学を理解し疫学研究の方法や保健医療統計を説明できる。 3. 感染症の予防 感染症を理解し感染症対策を説明できる。 4. 食生活と健康との関わり 食生活と健康との関わり、食品の安全性や機能性について説明できる。 5. 環境と健康との関わり 環境基準を理解し環境が健康に及ぼす影響を説明できる。 6. ライフステージの応じた保健活動 母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、産業保健、精神保健について説明できる。 7. まとめ学習 環境測定器具を理解し衛生学の重要なポイントを説明できる。						

教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	CP2,CP3
	a / c / a	b / a / a	a / a / c		
a:学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b:学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c:学習成果を上げるために履修する科目					

教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど

教 1/ スタンダード衛生・公衆衛生(第19版)/ 川村和章・宋 文群 他/ 学建書院

教 2/ 生活と健康(第6版)/ 川村和章・宋 文群 他/ 学建書院

配 1/ 講義資料/ 川村和章・宋 文群

評価方法

出 欠 席	履修ガイドに準じます。						
モジュール試験(%)	90	歯科医師国家試験形式の問題(50問)					
アクティビティ(%)	10	レポートを評価します。 詳細は講義時に説明します。					
	アクティビティ詳細(%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
		0	0	10	0	減点	ありません
再試験の評価方法	歯科医師国家試験形式の問題(50問)						
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。						
アクティブラーニング	非該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_001_4/6_1	2026/04/06	1		講義	31番教室	60
ユニット	健康の概念と健康政策					
サブユニット	健康の概念と健康政策					
授業目標	1)衛生学・公衆衛生学の意義と歴史を説明できる。 2)現代における健康の概念を説明できる。 3)WHOによる健康の定義を説明できる。 4)疾病の自然史を説明し、各段階に対応する疾病予防の3相5段階を関連づけることができる。 5)ICIDHとICFを関連づけて説明できる。 6)健康日本21を説明できる。 7)プライマリヘルスケアを説明できる。 8)ヘルスプロモーションを説明できる。 9)ハイリスクストラテジーとポピュレーションストラテジーを説明できる。					
キーワード	健康の定義、WHO憲章、健康の連続概念、疾病予防の3相5段階、第一次予防(健康増進、特異的予防)、第二次予防(早期発見と早期処置、進展防止)、第三次予防(機能回復)、ICIDH、ICF、健康増進法、健康日本21、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、ハイリスクストラテジー、ポピュレーションストラテジー					
担当	川村 和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p1～24、45～50 配1.当日分					
コアカリ(令和4年)	C-4-1-1,C-4-2-5,C-5-1,C-5-3,C-5-5					
国試出題基準(令和5年)	必修2-ア-a,必修2-ア-d,必修3-ア-a,必修3-ア-b,必修3-ア-d,総論Ⅰ-1-ア-a,総論Ⅰ-1-ア-b,総論Ⅰ-1-ア-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_002_4/6_2	2026/04/06	2		講義	31番教室	60
ユニット	疫学と保健医療統計					
サブユニット	疫学					
授業目標	1)疫学の定義を説明できる。 2)医学研究における研究手法を分類できる。 3)疫学研究の進め方を説明できる。 4)前向き研究と後ろ向き研究の特徴を説明できる。 5)疫学研究方法の比較を説明できる。					
キーワード	疫学の定義、疫学の要因、観察疫学、記述疫学、分析疫学、横断研究、縦断研究、前向き研究、前向きコホート研究、後ろ向き研究、患者・対照研究、後ろ向きコホート研究、生態学的研究、					
担当	宋 文群					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p25～31 配1.当日分					
コアカリ(令和4年)	C-6-1-1					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅰ-6-ア-a,総論Ⅰ-6-ア-e,総論Ⅰ-6-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_003_4/6_3	2026/04/06	3		講義	31番教室	60
ユニット	疫学と保健医療統計					
サブユニット	疫学・EBM					
授業目標	1)無作為化比較試験(RCT)を説明できる。 2)マスキングの意義を説明できる。 3)マスキングの種類を説明できる。 4)前向き研究におけるリスク要因の影響評価法を説明できる。 5)後ろ向き研究におけるリスク要因の影響評価を説明できる。 6)EBMを説明できる。 7)EBM実践の流れを説明できる。 8)EBMレベルの高い疫学研究を列挙できる。 9)無作為抽出法の種類を説明できる。					
キーワード	介入研究、無作為化比較試験(RCT)、マスキング、二重盲検法、偽薬(プラセボ)、相対危険度、寄与危険度、オッズ比、臨床疫学、EBMにおける研究レベル、EBMのステップ、無作為抽出法					
担当	宋 文群					

学修範囲(事前事後学修)	教1.p31~33、p42 配1.当日分
コアカリ(令和4年)	C-6-1-1
国試出題基準(令和5年)	総論 I-6-ア-e,総論 I-6-イ-a,総論 I-6-ア-d,総論 I-6-ア-f

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_004_4/13_1	2026/04/13	1		講義	31番教室	60
ユニット	疫学と保健医療統計					
サブユニット	スクリーニング検査・疫学調査					
授業目標	1)スクリーニング検査の意義と目的を説明できる。 2)スクリーニング検査の有効性を判定する指標を説明できる。 3)スクリーニング検査の有効性を判定できる。 4)疫学調査の手順を説明できる。 5)疾病・異常の発生頻度の指標を説明できる。					
キーワード	スクリーニング検査、敏感度、特異度、陽性反応の集中度、陰性反応の集中度、偽陽性率、偽陰性率、陽性尤度比、陰性尤度比、疫学調査、罹患率、有病率					
担当	宋文群					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p33~38 配1.当日分					
コアカリ(令和4年)	C-6-1-2					
国試出題基準(令和5年)	総論 I-6-イ-a,総論 I-6-ア-b,総論 I-6-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_005_4/13_2	2026/04/13	2		講義	31番教室	60
ユニット	疫学と保健医療統計					
サブユニット	人口静態統計・人口動態統計					
授業目標	1)人口動態・静態統計を説明できる。 2)国勢調査の概要を説明できる。 3)人口ピラミッドの種類を挙げ、それぞれの特徴を説明できる。 4)日本の人口ピラミッドの特徴を説明できる。 5)人口の年齢構造を表す指標を説明できる。 6)人口動態調査の指標を列挙できる。 7)人口の再生産率の指数を挙げ、説明できる。					
キーワード	人口静態統計(国勢調査)、人口動態統計、人口ピラミッド、年少人口割合、生産年齢人口割合、老年人口割合、従属人口割合、年少人口指数、老年人口指数、従属人口指数、老年化指数、少子高齢化、高齢社会、超高齢社会、出生率、再生産年齢、合計特殊出生率、総再生産率、純再生産率					
担当	宋文群					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p153~158 配1.当日分					
コアカリ(令和4年)	C-6-2-2,C-6-2-3					
国試出題基準(令和5年)	総論 I-6-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_006_4/13_3	2026/04/13	3		講義	31番教室	60
ユニット	疫学と保健医療統計					
サブユニット	人口動態統計					
授業目標	1)粗死亡率と年齢調整死亡率の違いを説明できる。 2)年齢調整死亡率(直接法)を計算できる。 3)日本人の出生と死亡、乳幼児死亡と周産期死亡の推移と現状を説明できる。 4)周産期死亡率を計算できる。 5)わが国の死因構造を説明できる。 6)平均寿命と平均余命の定義を説明できる。 7)少子高齢化の現状を説明できる。 8)日本の婚姻、離婚の動向を説明できる。					

キーワード	死亡率、粗死亡率、年齢調整死亡率、50歳以上死亡割合、周産期死亡率、死因別死亡、部位別悪性新生物の年齢調整死亡率、平均余命、平均寿命、少子高齢化
担当	宋文群
学修範囲(事前事後学修)	教1.p38～39、p158～166 配1.当日分
コアカリ(令和4年)	C-6-2-2,C-6-2-3
国試出題基準(令和5年)	総論 I-6-ウa

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_007_4/20_1	2026/04/20	1		講義	31番教室	60
ユニット	疫学と保健医療統計					
サブユニット	保健医療統計調査					
授業目標	1)基幹統計調査と一般統計調査を説明できる。 2)全数調査と標本調査を説明できる。 3)国民生活基礎調査の概要を説明できる。 4)患者調査の概要を説明できる。 5)学校保健統計調査の概要を説明できる。 6)医療施設調査の概要を説明できる。 7)医師・歯科医師・薬剤師統計の概要を説明できる。 8)統計からみた健康状況を説明できる。					
キーワード	基幹統計調査、一般統計調査、全数調査、標本調査、国民生活基礎調査、患者調査、学校保健統計調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査					
担当	持田 悠貴					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p78～82 配1.当日分					
コアカリ(令和4年)	C-6-2-2,C-6-2-4					
国試出題基準(令和5年)	総論 I-6-ウb					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_008_4/20_2	2026/04/20	2		講義	31番教室	60
ユニット	感染症の予防					
サブユニット	感染症					
授業目標	1)感染症の成立機転と予防対策を説明できる。 2)感染の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律による感染症の分類を説明できる。 3)感染症の医師による届出について説明できる。 4)検疫感染症を列挙できる。 5)予防接種の意義と予防接種法による予防接種を説明できる。					
キーワード	新興感染症、再興感染症、感染経路、感受性宿主、先天免疫、後天(獲得)免疫、能動免疫、自然免疫、人工免疫、受動免疫、感染の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律(1類、2類、3類、4類、5類、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症)、医師の届出義務、学校長の届出義務、学校感染症、外来感染症、検疫感染症、検疫法、予防接種、予防接種法					
担当	川村 和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p50～65 配1.当日分					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-4,A-4-2-7,C-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論 I-7-ア-a,総論 I-7-ア-b,総論 I-7-ア-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_009_4/20_3	2026/04/20	3		講義	31番教室	60
ユニット	食生活と健康との関わり					
サブユニット	生活習慣病・食中毒・食品保健					

授業目標	1)生活習慣病を列挙しリスク要因と予防を説明できる。 2)日本人の主要死因のリスク因子を挙げ、予防の基本を説明できる。 3)特別用途食品を説明できる。 4)保健機能食品(特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品)を説明できる。 5)食品衛生法を説明できる。 6)食品表示法を説明できる。 7)食品の安全性確保対策を説明できる。 8)食中毒を定義づけて、分類できる。 9)食中毒の発生状況を説明できる。 10)主な食中毒の原因と中毒症状を説明できる。 11)主な食中毒の予防を説明できる。
キーワード	プレスローの7つの健康習慣、QOL、生活習慣病、食品衛生法、食品表示法、特別用途食品、特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品、保健機能食品、食品添加物、遺伝子組み換え食品、牛海綿状脳症(BSE)、細菌性食中毒、感染型食中毒、毒素型食中毒、ウイルス性食中毒、自然毒、化学物質食中毒
担当	川村 和章
学修範囲(事前事後学修)	教1.p66~73、139~151 配1.当日分
コアカリ(令和4年)	C-5-4
国試出題基準(令和5年)	総論 I-8-イ-a,総論 I-8-イ-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_010_4/27_1	2026/04/27	1		講義	31番教室	60
ユニット	食生活と健康との関わり					
サブユニット	食生活と健康					
授業目標	1)日本人の栄養摂取状況に関する国家統計を説明できる。 2)日本人の栄養摂取状況、身体状況、食生活状況を説明できる。 3)「食生活指針」を説明できる。 4)日本人の食事摂取基準の概要を説明できる。 5)日本人の食事摂取基準の「指標」を説明できる。 6)各栄養素の策定目的とその特徴を説明できる。 7)食事バランスガイドを説明できる。					
キーワード	国民健康・栄養調査、BMI、メタボリックシンドローム、食生活指針、食育基本法、食事バランスガイド、日本人の食事摂取基準、推定エネルギー必要量、推定平均必要量、推奨量、目安量、耐容上限量、目標量					
担当	川村 和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p121~139 教2.p73~88 配1.当日分					
コアカリ(令和4年)	C-4-2-5,C-6-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修3-ア-d,必修3-イ-a,総論 I-8-ア-a,総論 I-8-ア-b,総論 I-8-ア-c,総論 I-8-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_011_4/27_2	2026/04/27	2		講義	31番教室	60
ユニット	環境と健康との関わり					
サブユニット	地球規模での環境対策					
授業目標	1)環境変化に対するヒトの適応を説明できる。 2)地球環境対策の現状を説明できる。 3)地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、砂漠化の原因と対策を説明できる。					
キーワード	適応と順化、環境基本法、環境アセスメント、地球温暖化対策、温室効果ガス、オゾン層保護対策、酸性雨対策、熱帯雨林の保全対策、砂漠化対策、有害廃棄物の越境移動対策、生物多様性の保全対策、野生動物の保護対策					
担当	川村 和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p83~90 配1.当日分					
コアカリ(令和4年)	C-4-5-1,C-4-5-2,C-4-5-3,C-4-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論 I-9-ア-a,総論 I-9-ア-b,総論 I-9-ア-c,総論 I-9-ア-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

S2301_012_4/27_3	2026/04/27	3		講義	31番教室	60
ユニット	環境と健康との関わり					
サブユニット	温熱環境					
授業目標	1)ヒトの体温調節機構を説明できる。 2)ヒトの寒暑感覚を説明できる。 3)気温、気湿、気流、輻射熱を説明できる。 4)温熱条件の総合的指標(不快指数、感覚温度)を説明できる。 5)寒冷と暑熱に対する生体の反応を説明できる。 6)正常な空気の組成と呼吸による変化を説明できる。 7)空気中二酸化炭素のヒトへの有益性と有害性を説明できる。 8)二酸化炭素のヒトへの有害性と中毒機序を説明できる。					
キーワード	体温調節、体熱産生、体熱放散、温熱条件、気温、気湿、気流、輻射熱、絶対温度、アウグスト乾湿計、アスマン通風乾湿計、絶対湿度、飽和湿度、相対湿度、飽差、カタ温度計、カタ冷却力、実効輻射温度、感覚温度、不快指数、空気の正常成分、二酸化炭素の衛生的許容濃度、空気の異常成分					
担当	川村 和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p90～98 教2.p1～18 配1.当日分					
コアカリ(令和4年)	C-4-5-1,C-4-5-2,C-4-5-4					
国試出題基準(令和5年)	総論 I-9-7-a,総論 I-9-7-b,総論 I-9-7-c,総論 I-9-7-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_013_5/11_1	2026/05/11	1		講義	31番教室	60
ユニット	環境と健康との関わり					
サブユニット	水質環境と生活					
授業目標	1)水の生理的必要性と生活必要量を説明できる。 2)水道の水質基準を説明できる。 3)水系感染症の特徴を説明できる。 4)水道水の消毒法と残留塩素の意義・基準を説明できる。 5)水道システムの概要を説明できる。 6)緩速濾過と急速濾過の特徴を説明できる。 7)下水処理の概要を説明できる。 8)活性汚泥法を説明できる。 9)下水、河川などの汚濁の指標を列挙し、その意義を説明できる。					
キーワード	水の生理的必要性、水の生活必要性、水道水質基準、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、一般細菌、大腸菌群、硬度、水系感染症、残留塩素、緩速濾過法、急速濾過法、活性汚泥法、物理的処理、生物学的処理、酸化法、腐敗法、化学的処理、浮遊物質(SS)、生物化学的酸素要求量(BOD)、化学的酸素要求量(COD)、溶存酸素(DO)					
担当	川村 和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p98～105 教2.p19～44 配1.当日分					
コアカリ(令和4年)	C-4-5-1,C-4-5-2					
国試出題基準(令和5年)	総論 I-9-7-a,総論 I-9-7-b,総論 I-9-7-c,総論 I-9-7-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_014_5/11_2	2026/05/11	2		講義	31番教室	60
ユニット	環境と健康との関わり					
サブユニット	住居環境・環境問題・廃棄物処理					

授業目標	1)騒音の定義と人体への影響を説明できる。 2)騒音性難聴の特徴を説明できる。 3)紫外線の人体への影響を説明できる。 4)昼光率を説明できる。 5)均斉度を説明できる。 6)住居の採光を高める方法を説明できる。 7)住居の換気の目安を説明できる。 8)日本で発生した環境問題(公害)を列挙し、その原因を説明できる。 9)日本の大気汚染の現状を説明できる。 10)新たな化学物質による環境問題を説明できる。 11)粉塵粒子のヒトへの有害性を説明できる。 12)水質汚濁とその対策を説明できる。 13)廃棄物処理制度の概要を説明できる。 14)産業廃棄物を分類できる。 15)歯科医院から排出する廃棄物の処理法を説明できる。
キーワード	騒音、音の4要素、音の単位、騒音レベル、振動規制法、レイノー症候群(白ろう病)、必要換気量、必要換気回数、昼光率、均斉度、電離放射線、非電離放射線、紫外線、ドルノー線、赤外線、可視光線、4大公害訴訟、亜硫酸ガス、内分泌かく乱化学物質、環境基本法、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、光化学オキシダント、光化学スモッグ、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、廃棄物の処理および清掃に関する法律、一般廃棄物、産業廃棄物、産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度
担当	川村 和章
学修範囲(事前事後学修)	教1.p105~119 教2.p45~72 配1.当日分
コアカリ(令和4年)	C-3-3-3,C-4-5-1,C-4-5-2,C-4-5-3
国試出題基準(令和5年)	総論 I-9-ア-a,総論 I-9-ア-b,総論 I-9-ア-c,総論 I-9-ア-e,総論 I-9-ア-d

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_015_5/11_3	2026/05/11	3		講義	31番教室	60
ユニット	ライフステージに応じた保健活動					
サブユニット	地域保健と保健行政					
授業目標	1)ヘルスプロモーションを説明できる。 2)地域保健活動を説明できる。 3)保健行政を説明できる。 4)保健所と市町村保健センターを説明できる。					
キーワード	ヘルスプロモーション、オタワ憲章、プリシード・プロシードモデル、PDCAサイクル、地域保健法、保健所、市町村保健センター					
担当	川村 和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p167~179 配1.当日分					
コアカリ(令和4年)	C-4-2-5,C-4-3-1,C-5-3					
国試出題基準(令和5年)	必修3-ア-b,必修3-イ-a,総論 I-1-オ-a,総論 I-1-オ-c,総論 I-1-オ-e,総論 I-1-オ-f					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_016_5/12_3	2026/05/12	3		講義	31番教室	60
ユニット	ライフステージに応じた保健活動					
サブユニット	母子保健					
授業目標	1)母子保健の意義と対象者を説明できる。 2)母子保健水準の指標を説明できる。 3)母性保健を説明できる。 4)小児保健を説明できる。 5)健やか親子21(第2次)を説明できる。 6)児童虐待を説明できる。					
キーワード	妊産婦、新生児、乳児、未熟児、保護者、妊産婦死亡、周産期死亡、死産、新生児死亡、乳児死亡、母子保健法、母体保護法、成育基本法、妊婦健康診査、産婦健康診査、母子健康手帳、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、保健指導、妊娠の届出、妊産婦の訪問指導等、産後ケア事業、低出生体重児の届出、未熟児養育医療、自立支援医療、健やか親子21(第2次)、児童虐待防止法、身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待、					
担当	川村 和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p181~195 配1.当日分					

コアカリ(令和4年)	C-4-3-1,C-4-3-5,C-5-5,C-6-2-2
国試出題基準(令和5年)	必修3-イ-b,必修3-イ-f,総論 I-1-オ-a,総論 I-1-オ-e,総論 I-1-オ-f,総論 I-2-ア-a,総論 I-2-ア-b,総論 I-2-ア-c,総論 I-2-ア-d,総論 I-2-ア-e,総論 I-2-ア-f,総論 I-2-ア-g

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_017_5/12_4	2026/05/12	4		講義	31番教室	60
ユニット	ライフステージに応じた保健活動					
サブユニット	学校保健					
授業目標	1)学校保健の意義と対象者を説明できる。 2)学校保健の領域を説明できる。 3)学校保健関係職員を説明できる。 4)学校健康診断を説明できる。 5)学校において予防すべき感染症を説明できる。 6)学校給食を説明できる。 7)学校安全を説明できる。					
キーワード	学校保健安全法、学校保健統計調査、学校教育法、学習指導要領、保健教育、保健管理、組織活動、学校保健委員会、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、就学時健康診断、定期健康診断、臨時健康診断、保健調査、学校感染症、学校給食、食育基本法、食育、生活安全、交通安全、災害安全、防犯安全					
担当	川村 和章					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p197～214 配1.当日分					
コアカリ(令和4年)	C-4-3-1,C-5-5,C-6-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修3-イ-c,総論 I-1-オ-a,総論 I-1-オ-e,総論 I-1-オ-f,総論 I-2-イ-a,総論 I-2-イ-b,総論 I-2-イ-c,総論 I-2-イ-d,総論 I-2-イ-e,総論 I-2-イ-f,総論 I-2-イ-g					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_018_5/18_1	2026/05/18	1		講義	31番教室	60
ユニット	ライフステージに応じた保健活動					
サブユニット	成人・高齢者保健					
授業目標	1)成人・高齢者保健の意義と対象者を説明できる。 2)成人・高齢者保健の健康指標を説明できる。 3)健康増進法に基づく健康増進事業を説明できる。 4)特定健康診査、特定保健指導について説明できる。 5)介護予防を説明できる。 6)介護予防の為に地域支援事業を説明できる。					
キーワード	健康寿命、認知症、日常生活動作(ADL)、手段の日常生活動作(IADL)、障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準、老人福祉法、介護保健法、高齢者医療確保法、健康手帳の交付、健康教育、健康相談、機能訓練、訪問指導、歯周疾患検診、骨粗鬆症健診、肝炎ウイルス検診、がん検診、メタボリックシンドローム、特定健康診査、特定保健指導、介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業、任意事業、地域包括支援センター、					
担当	持田 悠貴					
学修範囲(事前事後学修)	教1.p215～231 配1.当日分					
コアカリ(令和4年)	C-4-3-1,C-4-3-2,C-4-3-6					
国試出題基準(令和5年)	必修3-イ-a,必修3-イ-e,必修3-イ-f,総論 I-2-エ-a,総論 I-2-エ-b,総論 I-2-エ-c,総論 I-2-オ-a,総論 I-2-オ-b,総論 I-2-オ-c,総論 I-2-オ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_019_5/18_2	2026/05/18	2		講義	31番教室	60
ユニット	ライフステージに応じた保健活動					
サブユニット	産業保健・精神保健					

授業目標	1)産業保健の意義と対象者を説明できる。 2)労働保健関連法規を概説できる。 3)企業内産業保健活動を説明できる。 4)産業保健管理を説明できる。 5)職業性疾病を説明できる。 6)精神保健の意義と対象者を説明できる。 7)精神障害者の医療を説明できる。 8)保健保健福祉センターを説明できる。 9)ライフステージに応じた精神保健を説明できる。 10)心の健康対策を概説できる。
キーワード	労働災害、業務上疾病、労働安全衛生法、総括安全衛生管理者、衛生管理者、衛生推進者、産業医、衛生委員会、労働衛生コンサルタント、作業環境管理、作業管理、健康管理、一般健康診断、特殊健康診断、ストレスチェック、職業性疾病、トータル・ヘルス・プロモーション・プラン、精神保健、精神保健福祉法、任意入院、措置入院、医療保護入院、応急入院、緊急措置入院、精神通院医療、医療計画、精神保健福祉センター、発達障害、統合失調症、双極性感情障害、
担当	川村 和章
学修範囲(事前事後学修)	教1.p233～253 配1.当日分
コアカリ(令和4年)	C-4-3-1
国試出題基準(令和5年)	必修3-イ-d,必修3-イ-g,総論 I-2-ウ-a,総論 I-2-ウ-b,総論 I-2-ウ-c,総論 I-2-ウ-d,総論 I-2-ウ-e,総論 I-2-ウ-f,総論 I-2-ウ-g

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
S2301_020_5/18_3	2026/05/18	3		演習	31番教室	60
ユニット	まとめ学習					
サブユニット	問題演習・器具の使用法					
授業目標	1)衛生学の重要なポイントを説明できる。 2)環境測定器具を説明できる。					
キーワード	歯科医師国家試験、環境測定器具					
担当	川村 和章,宋 文群,長谷川 拓哉					
学修範囲(事前事後学修)	配1.当日分					
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						